

自動見当制御装置

# TRC-6000

TKS Register Control - 6000



## 自動見当制御装置

自動見当制御装置TRCシリーズは1996年の販売以来、累計300タワー以上の実績と高い評価を頂いております。輪転機メーカーであるTKSグループが開発した製品であり、高精度で安定した自動見当制御を実現致します。

### ■高速印刷においても安定したマーク検出が可能

- ・印刷速度最高20万部/時まで対応しています。
- ・どのような形状の見当マークでも、テンプレートに登録することによって読み取り可能です。

### ■オペレータの負担を軽減

- ・複数にわたるタワー機のカメラを1台の操作パネルで一括操作できます。
- ・新聞製作制御システム(T-NPC)と接続し、プリセットすることにより、使用するカメラの位置とカラー情報を自動で設定できます。

### ■万が一、故障した際にも迅速に対応が可能

- ・ケーブルとカメラボックスが取り外し容易な構造になっています。そのため万が一、カメラが故障した場合、迅速に予備品のカメラと交換でき、時間的に厳しい制約のある新聞印刷への影響を極力抑えることができます。また、すべての箇所と同じカメラを使用しているため、どこかのカメラを入れ替えても動作する仕様になっています。

故障

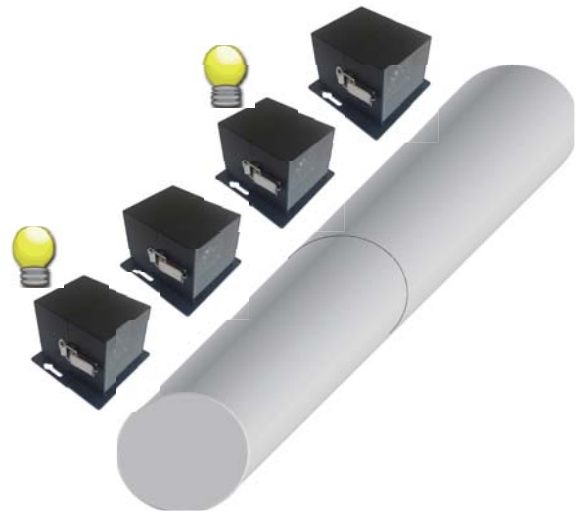


カメラボックスの金具を外して交換



## ■移動機構をなくすことによって、故障リスクを削減

- ・ 固定式カメラを採用することにより、可動部分がなくなり、印刷で使用するカメラ位置設定動作の信頼性が高まりました。また、使用するカメラの切り替え時に、従来の移動式カメラの場合、移動するのに時間がかかりましたが、固定式カメラでは、切り替えが瞬時に行えます。



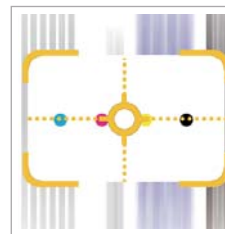
## ■自動サーチ機能を搭載

- ・ 印刷中に見当マークを見失った場合、高輝度LEDストロボスコープの発光タイミングを変えて照射させ、マーク位置を自動で再認識します。



## ■印刷中にリアルタイムでマークを確認

- ・ 印刷中に、カメラが取り込んだ見当マークを操作画面からリアルタイムで確認することができ、トラブルの早期発見に効果を発揮します。



グラフィックパネル

## ■Xシステムへの対応(オプション)

New

- ・ INSPECTOR-600、T-CUTTERとの紙面情報のリアルタイム連携を実現するとともに見当ずれ検知時の不良紙を排出します。



## ■自動ファンアウト制御機能を搭載(オプション)

New

- ・ 各面に固定設置されたカメラを最大限に生かし、ファンアウト制御用のマークを読み取り、紙幅方向のずれ量を計測します。この結果を元にアンチファンアウトローラーの押し込み量を自動調整し、ファンアウトの修正を行います。